

六月市議会では、目崎良治議員が日本共産党の代表質問に立ちました。目崎議員は自公保の「有事法制」、「イラクへの自衛隊派兵新法」の強行は、日本がアメリカのために本格的に戦争できる体制をつくるものであり、地方自治も重大な侵害を受けるなど、その危険性を浮き彫りにしました。また、六月議会の焦点である合併・政令市問題、産業振興と雇用問題、バス路線廃止問題で、市民のくらしを守る立場から奮闘しました。



目崎良治議員

有事法制は明白な憲法違反 地方自治を破壊する重大な問題と指摘

「説明が十分に尽くされ、たかについて疑問を感じる」と篠田市長

「有事法制」は、攻撃に備えるという口実で、自衛隊が海外で、アメリカの先制攻撃の戦争に参加

市長

製造業実態調査は、貴重な意見が取りまとめられたと考えている

「地域住民の安全に直結する国民保護法制が先送りされたことや、政府の国民への説明が十分に尽くされたかに疑問を感じています」との認識を示しました。

た製造業実態調査の結果と製造業の立て直し策について質問。市長は「この二〇年間製造業が一貫して減少」「実態調査の結果は、貴重な意見が取りまとめられた」とし、「今回の調査結果をもとに、意欲ある製造業者に対して支援を強める」と答え、新たな支援策について検討していることを示唆しました。

仕事を確保する制度の提案をしています。

日本共産党新潟市議団

中小建設業の仕事を確保する制度の確立を提案

■ 小規模工事登録制度
この制度は、市が発注する工事のうち小規模な工事、修繕(30万~130万円)を市内の業者に発注するものです。

■ 住宅リフォーム助成制度
この制度は、新潟市民が、市内の業者に発注して、住宅を増改築する場合、助成金が給付されるものです。

胃カメラ検査は「1回で終わらせられない」と質問

市が今年度から始めた胃カメラ検査が好評ですが、「異常」が見つければ、また胃カメラを飲みます。渡辺議員は1回で終わるよう検討できないか、改善を求めました。

市民のねがい実現に全力をあげた市議団

6月市議会



今井ヨシイ議員

緊急時対応用「ショートステイ」の確保を、「その整備に努めたい」

市民局長

いかなる場面であっても選挙運動を妨害することは許されない

選挙管理委員長が答弁

今井議員

8回の選挙を戦ってきたが、今回ほど汚い選挙はなかった

今井議員は、「ある政党と、特定団体」による今回の選挙でおこなわれた日本共産党及び候補者への中傷や攻撃は、選挙違反行為に当たらないのかと質問しました。

今井議員は、実際にまかれたチラシを議場で見せ、宣伝カーを使って日本共産党の候補者が演説妨害され



食農教育と地域活性化のために、「地場産学校給食の発展」を提案



渡辺有子議員

渡辺議員は、地場産品を利用した学校給食が、食農教育の進展や、地域活性化が期待できるのではないかとし、地場産品を積極的に活用し、可能な地域からモデル事業をしてはどうかと要望しました。これに対し、新潟市完全給食実施校での市内産品使用率は全体の「割程度」であり、今後、関係機関との連携のあり方、モデル事業の実施を含め、教育委員会とともに生産者と学校の具体的な課題を整理し、地場産農産物の利用促進体制の検討をしていきたい」と農林水産部長が答弁しました。

WTO農業交渉の請願を採択

J A新潟西農協、J A新潟市農協から請願された「WTO農業交渉における日本提案の実現を求める意見書」が全会一致で採択されました。

この請願には、鈴木議員が紹介議員の一人となり、党議員団も採択に向けて全力で取り組みました。



浜田明治議員

議会運営の改善に向けて論議始まる



鈴木克夫議員

議会運営委員会小委員が構成され、議会運営の改善について議論されています。党議員団は、本会議での発言時間は現状を維持

し、制限を強化せず可能な限り発言を保障することを前提とし、①「議会だより」の一般質問者の氏名を明記すること、②二月議会・全員協議会での局長質疑は連合委員会として公開すること、③海外視察については、当面自粛すること、④「五月一日問題」いわゆる一ヶ月に満たない議員の報酬は日割り計算にすることを提起し、改善を目指しています。

新潟交通バス路線廃止問題について

規制緩和でバス路線「廃止」を届出制に



山田修一議員

二〇〇〇年五月、「道路運送法の一部改正」が成立し、乗合バス事業への新規参入や路線からの撤退が容易になりました。また、国は九年以降「廃止路線代替バス」を補助対象からはずしたことで、平均乗車密度五人未満の「第三者生活路線」への補助を打ち切るなど補助制度の見直しが行われました。新潟交通バスが二四路線四三系統の廃止届けを提出した背景には、こうした国の規制緩和措置があります。

「バス路線維持」の決議を全会派一致で採択

公共交通機関は地域社会の存在条件です。これがなくなれば生活できない人、学校に通えない生徒、つぶるお店が出て過疎化も進むなど影響が心配されます。



明戸和枝議員



「住民の足」を奪うな(写真とは関係ありません)

問われる 県の姿勢

バス路線の維持にはバス事業者が維持をする、自治体で代替バスを出すに力を使わず、補助に必要な予算を確保し、適切な制度をつくる必要があります。また利用者が、住民の声を生かすことが不可欠です。群馬県

議長 橋田憲司氏
副議長 小石光夫氏

五月臨時会で、市民クラブの橋田憲司氏を議長に、副議長に新潟クラブの小石光夫氏をそれぞれ選出しました。日本共産党市議団は、市民・新潟両クラブと「議会改革」を行うことで合意し、選挙では両氏に投票しました。